

麻薬年間届 記載上の注意

- (1) 氏名
- ・麻薬診療施設：麻薬管理者氏名（麻薬管理者がいない施設にあつては麻薬施用者氏名）
 - ・麻薬小売業者：業務所の開設者氏名（法人の場合、法人名及び代表者名を記載してください。）
 - ・麻薬研究者：麻薬研究者氏名（業務所に複数研究者がいる場合は、研究者ごとに届け出てください。）
- (2) 同じ品名のもので、含有量が異なれば別品目として記載してください。
- (3) 単位は、グラム(g)、ミリリットル(ml)、アンプル(A)（注射剤の場合）、バイアル(V)、錠等で記載し、同一品目内では単位を統一して記載してください。
- (4) 購入した麻薬から倍散、溶液、軟膏を自製（予製）した場合は、購入した麻薬の次行に倍散、溶液、軟膏の欄を別に設けて記載してください。
- (5) コデイン、ジヒドロコデイン、エチルモルヒネの倍散、溶液、軟膏は、9月30日現在で秤量し、期末在庫数としてください。（払出数は計算による）。
- (6) 受入数欄のcには、病院等において、入院患者に調剤し、施用されずに病棟から返却された麻薬のうち再利用する麻薬の数量を記載してください。また、dには患者より調剤済麻薬として廃棄のため受け入れた持参薬の数量を記載してください。その他の受け入れ数は②に合算して記載してください。なお、麻薬小売業者間許可に基づく譲受を行った場合は、②欄に（）書きで内数として譲受の数量を記載してください。
- (7) 払出数欄において、eには、a及びdで譲受した持参麻薬を廃棄した数を記載し、その他の払出数は、③に合算して記載してください。病院等において、入院患者に調剤し、施用されずに病棟から返却された麻薬のうち、調剤済麻薬として廃棄した数量は③に合算してください。また、麻薬廃棄届により廃棄した数量及び麻薬事故により滅失した数量は③に合算し、備考欄に記載してください。なお、麻薬小売業者間許可に基づく譲渡を行った場合は、③欄に（）書きで内数として譲渡の数量を記載してください。
- (8) 病院等において、持参麻薬を持参した当該患者に使用した場合は、本票（年間届）への受入数、払出数に記載する必要はありません※。この場合であっても、病院等が持参麻薬として廃棄処分する場合は、dに受け入れ数を計上し在庫に含めてください。
- ※ 帳簿（補助簿を含む）で患者が持参した麻薬を管理することを妨げるものではありません。
- (9) 秤量誤差は、受入数、払出数に含まずに、備考にその旨を記載してください。（アヘンチンキの例を参照）
- (10) 期限切れの麻薬は、廃棄届による廃棄を行うまでは在庫数に含まれます。
- (11) 備考欄に記載する項目が複数になる場合には、それぞれの項目で分けて記載してください。（例：R〇.2.1 事故届 5錠、R〇.6.10 廃棄届 100錠）
- (12) 年間届作成の際は、実在庫数と麻薬帳簿と照合の上、記載してください。

記載例

品名	単位	期初在庫数 (前年10月1日現在)		受入数		払出数		期末在庫数 (本年9月30日現在)		備考
		① a 以外	a 廃棄処分として譲受した持参麻薬のうち未廃棄の数	② b 以外	c 再利用 (病院等のみ)	d 廃棄処分として譲受した持参麻薬	③ e 以外	e a及びdのうち調剤済麻薬として廃棄した数	④ f 以外	
ケタミン注射液 500mg	mL	100		300			250		150	R〇.2.1 事故届 10mL
ケタミン注射液 200mg	mL	30		0			10		20	2倍濃縮液予製
ケタミン2倍濃縮液	mL	0		5			0		5	200mg注射液から予製
ペチジン塩酸塩注射液 35mg	A	60		200			171		89	R〇.8.19廃棄届20A
アヘンチンキ	mL	20		50			48		20	秤量誤差 -2mL
MSコンチン錠 10mg	錠	130		450(50)			420		160	
オプソ内服液10mg	包	10		60	8		30		48	
フェンタニル1日用テープ5mg「〇〇」	枚	21	5	35		14	28	12	28	7

各項目の関係

① + ② + c = ③ + ④ ± 秤量誤差	①	②	c	③	④	秤量誤差
a + d = e + f	a	d	e	f		